

## 平成22年9月期 決算短信

平成22年11月15日  
上場取引所 大

上場会社名 東北化学薬品株式会社  
 コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ長兼管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉  
 定時株主総会開催予定日 平成22年12月20日 配当支払開始予定日 平成22年12月21日  
 有価証券報告書提出予定日 平成22年12月21日

TEL 0172-33-8131

(百万円未満切捨て)

### 1. 22年9月期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期	19,164	7.5	251	—	278	1,651.3	73	—
21年9月期	17,820	△10.1	△8	—	15	△94.7	△26	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年9月期	15.24	—	1.8	3.4	1.3
21年9月期	△5.54	—	△0.6	0.2	△0.1

(参考) 持分法投資損益 22年9月期 △0百万円 21年9月期 △0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期	8,749	4,178	47.8	871.91
21年9月期	7,907	4,148	52.5	865.47

(参考) 自己資本 22年9月期 4,178百万円 21年9月期 4,148百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年9月期	437	△119	△57	637
21年9月期	291	△89	△167	377

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00	38	—	0.9
22年9月期	—	—	—	10.00	10.00	47	65.6	1.2
23年9月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00		68.5	

### 3. 23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,700	△3.2	150	△18.1	160	△18.7	65	△13.6	13.56
通期	19,200	0.2	275	9.6	305	9.4	105	43.8	21.90

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、16ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期 4,800,000株 21年9月期 4,800,000株  
② 期末自己株式数 22年9月期 7,581株 21年9月期 6,400株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、20ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

#### (参考)個別業績の概要

1. 22年9月期の個別業績(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期	18,770	8.2	244	—	270	2,778.7	69	—
21年9月期	17,347	△10.3	△16	—	9	△96.8	△31	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期	14.41	—
21年9月期	△6.54	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
22年9月期	8,597	—	4,115	—	47.9	—	858.75	—
21年9月期	7,751	—	4,089	—	52.8	—	853.13	—

(参考) 自己資本 22年9月期 4,115百万円 21年9月期 4,089百万円

2. 23年9月期の個別業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	9,500	△3.1	145	△18.5	155	△18.6	60	△14.1	12.51
通期	18,800	0.2	270	10.6	300	10.9	100	44.7	20.86

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績につきましては、概ね予想とおりに推移しており、現時点においても業績予想に変更はありません。当資料に掲載している見通しの数値は、当社が現在入手可能な情報から判断したものであり、経済情勢などの動向により変動する場合がありますのでご承知おき下さい。  
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3 連結事業予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 1. 経営成績

## (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア経済の改善や国内景気対策の効果により景気の回復傾向がみられたものの、急激な円高の進行と継続的なデフレにより企業収益が悪化し、雇用情勢も厳しいまま推移いたしました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、191億64百万円と前連結会計年度に比べ13億44百万円(7.5%)の増収、営業利益は2億51百万円(前連結会計年度は8百万円の営業損失)、経常利益は2億78百万円と前連結会計年度に比べ2億62百万円(1,651.3%)の増益、当期純利益は73百万円(前連結会計年度は26百万円の当期純損失)となりました。

各部門の業績は、次のとおりであります。

化学工業薬品部門においては、厳しい環境が続いているものの、化学工業薬品は半導体関連企業の製造が回復基調にあり、前年同期を上回ることができました。また、同関連機器については、大型補正予算の影響で大きく伸びました。この結果、売上高は108億44百万円となり前連結会計年度と比べ11億5百万円(11.3%)の増収となりました。

臨床検査試薬部門においては、医療費改定の影響は軽微でしたが、値引要請や広域化による広域卸の参加などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。しかしながら、臨床検査試薬及び同関連機器が順調に伸びたため、売上高は62億48百万円となり前連結会計年度と比べ2億90百万円(4.9%)の増収となりました。

食品、農業資材部門においては、景気低迷、デフレの影響を受け、販売価格の落ち込みや生産調整など厳しい環境でした。この結果、売上高は、20億71百万円となり前連結会計年度と比べ50百万円(2.4%)の減収となりました。

## (次期の見通し)

当社グループといたしましては、今後とも化学工業・医療の進歩に寄与するという専門商社としての使命を自覚し、積極的な営業方針のもと、高度化・多様化するユーザーニーズにきめ細かく応えていく所存であります。また、仕入先との関係を強化し、拡販及び利益率の向上を目指しております。次期の業績見通しは、売上高が、192億円と前連結会計年度と比べ35百万円(0.2%)の増収、営業利益が、2億75百万円と前連結会計年度と比べ23百万円(9.6%)の増収、経常利益が、3億5百万円と前連結会計年度と比べ26百万円(9.4%)の増益、当期純利益が、1億5百万円と前連結会計年度と比べ31百万円(43.8%)の増収を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ①資産・負債及び純資産の分析

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は55億8百万円(前連結会計年度末は47億27百万円)となり、7億80百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金5億13百万円増加によるものであります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は32億40百万円(前連結会計年度末は31億79百万円)となり、61百万円増加しました。これは主に、有形固定資産50百万円増加によるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は43億82百万円(前連結会計年度末は36億17百万円)となり、7億64百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金5億91百万円増加及び未払法人税等1億6百万円増加によるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1億88百万円(前連結会計年度末は1億40百万円)となり、47百万円増加しました。これは主に、リース債務40百万円増加によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は41億78百万円(前連結会計年度末は41億48百万円)となり、29百万円増加しました。これは主に、利益剰余金34百万円増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、6億37百万円と前連結会計年度末に比べ2億60百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果取得した資金は、4億37百万円(前連結会計年度比1億46百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2億7百万円(前連結会計年度比2億3百万円増)及び売上債権の増加額5億円(前連結会計年度比18億33百万円増)並びに仕入債務の増加額5億90百万円(前連結会計年度比15億43百万円増)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果使用した資金は、1億19百万円(前連結会計年度比30百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出77百万円(前連結会計年度比66百万円減)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は、57百万円(前連結会計年度比1億9百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払額38百万円(前連結会計年度比33百万円減)等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成18年9月期	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
自己資本比率	43.8	42.6	46.4	52.5	47.8
時価ベースの自己資本比率	29.5	26.5	26.3	32.1	25.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	23,129.6	1,394.8	898.8	280.7	5,299.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対して断続的な安定配当を維持していくことを経営の重要政策として位置づけており、今後とも株主資本利益率の向上を図る方針であります。また、さらなる利益追求によって、株主に応えてまいります。

当期については2円増配し10円、次期については5円増配し、15円にする予定であります。

内部保留につきましては、競争力の維持、強化や経営基盤の拡充に重点的に投資してまいります。

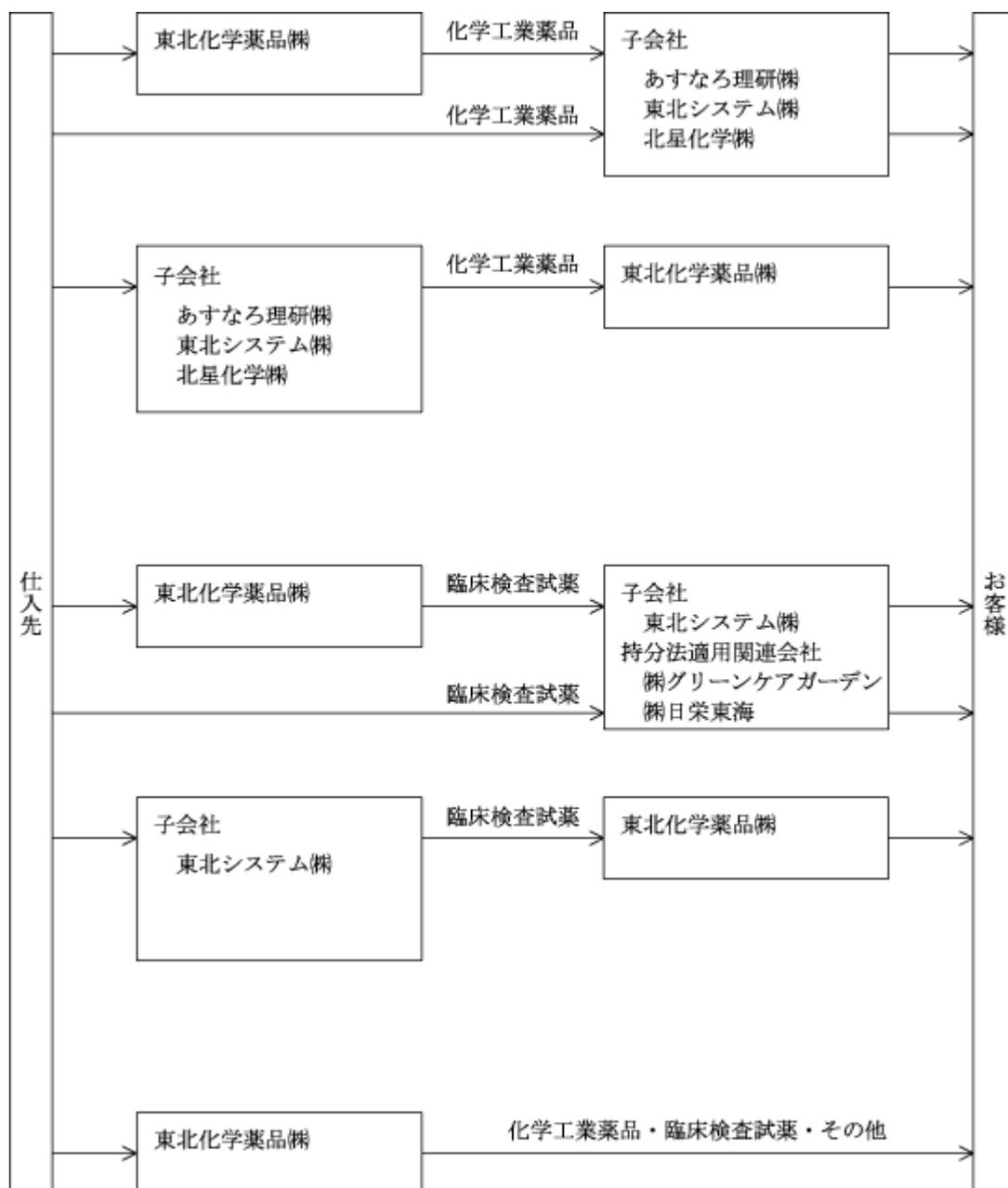
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、東北化学薬品株式会社（当社）及び子会社3社並びに持分法適用関連会社2社により構成されており、化学工業薬品・臨床検査試薬・食品添加物・農薬及び同関連機器の販売を主に、これらに附帯する保守サービス等の事業を展開しております。

当グループの事業に係る位置付け及び事業部門との関連は、次のとおりであります。



## 3. 経営方針

## (1) 会社の経営の基本方針

当社グループの基本方針は、株主に対しては、満足度の向上を目指し、顧客に対しては、豊富な情報提供とスピーディーな納品、そしてアフターサービスの充実に努め、社員に対しては、全員参加型の活力ある組織運営を目指すこととあります。

また、財務面においては、キャッシュ・フロー経営を重視し、より一層の資本効率の向上を目指しております。

今後も、企業価値を高め、社会により一層貢献するよう努力する所存であります。

## (2) 目標とする経営指標

当社グループは、株主の期待に応じて、より一層の利益拡大をはかっていくことを経営方針としており、重要な経営指標として、連結ROE(株主資本利益率)を重視しております。

経営目標を以下のとおり定めております。

目標達成時期	平成24年9月期
連結売上高	200億円
連結経常利益	4億円
連結ROE	5%以上

## (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、3ヶ年中期計画を策定し、中期経営企画の柱である「新規事業による業容の拡大」及び「旧体質の改革」に全体一丸となり取り組んであります。更に当社グループは、グループ全体が相乗効果を発揮しつつ、グループ全体として一層の成長を目指す経営を推進してまいります。

また、ISO14001を取得したことにより、環境管理委員会を設置するなど環境保全に努め、社会に認知される企業を目指します。

## (4) 会社の対処すべき課題

今後のわが国経済につきましては、民間設備投資は、景気回復には時間がかかるものとみられ、当社グループを取り巻く事業環境も依然として厳しいものと予想されます。このような環境の中、積極的な営業展開を行いつつ、当社グループは顧客へのサービスを低下することなく、更なる合理化、低コスト化の推進により対処してまいります。

## (5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

## 4. 【連結財務諸表】

## (1) 【連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成21年9月30日)	当連結会計年度 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	383,246	643,298
受取手形及び売掛金	3,756,707	4,270,402
商品	468,295	573,981
繰延税金資産	53,202	25,774
その他	103,734	37,265
貸倒引当金	△37,198	△42,624
流動資産合計	4,727,987	5,508,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,431,856	1,451,358
減価償却累計額	△912,512	△951,341
建物及び構築物(純額)	519,343	500,016
土地	1,345,827	1,333,202
リース資産	25,800	78,951
減価償却累計額	△4,004	△18,497
リース資産(純額)	21,796	60,454
建設仮勘定	—	6,037
その他	286,925	326,694
減価償却累計額	△108,966	△111,109
その他(純額)	177,958	215,584
有形固定資産合計	2,064,925	2,115,295
無形固定資産		
のれん	3,268	1,961
ソフトウェア	1,028	3,833
電話加入権	7,647	7,333
無形固定資産合計	11,945	13,128
投資その他の資産		
投資有価証券	676,837	660,984
差入保証金	354,715	360,360
繰延税金資産	1,212	2,346
その他	84,975	92,992
貸倒引当金	△15,387	△4,183
投資その他の資産合計	1,102,353	1,112,501
固定資産合計	3,179,225	3,240,925
資産合計	7,907,212	8,749,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成21年9月30日)	当連結会計年度 (平成22年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,517,495	4,109,013
リース債務	9,723	24,330
未払法人税等	6,340	112,495
賞与引当金	28,760	32,400
その他	55,356	104,100
流動負債合計	3,617,676	4,382,339
固定負債		
リース債務	39,994	80,940
繰延税金負債	33,587	29,622
退職給付引当金	5,836	10,221
役員退職慰労引当金	54,602	60,537
その他	6,800	6,800
固定負債合計	140,819	188,121
負債合計	3,758,496	4,570,460
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,405,231	2,439,923
自己株式	△3,443	△4,007
株主資本合計	4,103,287	4,137,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,428	41,146
評価・換算差額等合計	45,428	41,146
純資産合計	4,148,716	4,178,563
負債純資産合計	7,907,212	8,749,023

## (2)【連結損益計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	17,820,022	19,164,743
売上原価	15,820,326	17,034,785
売上総利益	1,999,695	2,129,957
販売費及び一般管理費	2,008,669	1,878,948
営業利益又は営業損失(△)	△8,974	251,008
営業外収益		
受取利息	5,163	4,686
受取配当金	9,632	8,468
受取手数料	5,089	4,894
その他	7,210	11,569
営業外収益合計	27,096	29,618
営業外費用		
支払利息	1,037	83
支払手数料	501	415
持分法による投資損失	388	558
その他	275	774
営業外費用合計	2,202	1,831
経常利益	15,919	278,795
特別利益		
固定資産売却益	67,655	—
投資有価証券売却益	1,885	243
役員退職慰労引当金戻入額	12,035	—
その他	6,789	—
特別利益合計	88,366	243
特別損失		
固定資産除却損	9,750	56
固定資産売却損	16,724	—
会員権評価損	550	800
投資有価証券評価損	9,946	39,339
投資事業組合運用損	19,803	15,086
減損損失	42,773	13,500
その他	800	3,003
特別損失合計	100,348	71,786
税金等調整前当期純利益	3,936	207,252
法人税、住民税及び事業税	13,057	109,290
過年度法人税等	2,980	—
法人税等調整額	14,469	24,921
法人税等合計	30,507	134,211
当期純利益又は当期純損失(△)	△26,570	73,041

## (3) 【連結株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	820,400	820,400
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	820,400	820,400
<b>資本剰余金</b>		
前期末残高	881,100	881,100
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	881,100	881,100
<b>利益剰余金</b>		
前期末残高	2,503,705	2,405,231
当期変動額		
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△26,570	73,041
当期変動額合計	△98,474	34,692
当期末残高	2,405,231	2,439,923
<b>自己株式</b>		
前期末残高	△3,443	△3,443
当期変動額		
自己株式の取得	—	△563
当期変動額合計	—	△563
当期末残高	△3,443	△4,007
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	4,201,762	4,103,287
当期変動額		
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△26,570	73,041
自己株式の取得	—	△563
当期変動額合計	△98,474	34,128
当期末残高	4,103,287	4,137,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自平成21年10月1日 至平成22年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	57,761	45,428
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,332	△4,281
当期変動額合計	△12,332	△4,281
当期末残高	45,428	41,146
評価・換算差額等合計		
前期末残高	57,761	45,428
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,332	△4,281
当期変動額合計	△12,332	△4,281
当期末残高	45,428	41,146
純資産合計		
前期末残高	4,259,523	4,148,716
当期変動額		
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△26,570	73,041
自己株式の取得	—	△563
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,332	△4,281
当期変動額合計	△110,807	29,846
当期末残高	4,148,716	4,178,563

(4) 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,936	207,252
減価償却費	53,771	62,010
のれん償却額	1,307	1,307
減損損失	42,773	13,500
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,946	39,339
投資有価証券売却益	△1,885	△243
固定資産売却損益 (△は益)	△50,930	—
固定資産除却損	9,750	56
投資事業組合運用損益 (△は益)	19,803	15,086
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	38,082	△5,777
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,460	3,640
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,067	4,385
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6,718	5,935
受取利息及び受取配当金	△14,795	△13,154
支払利息	1,037	83
持分法による投資損益 (△は益)	388	558
売上債権の増減額 (△は増加)	1,332,785	△500,566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,228	△105,686
仕入債務の増減額 (△は減少)	△952,773	590,738
その他	6,807	42,606
小計	503,123	361,072
損害賠償金の支払額	△65,000	—
利息及び配当金の受取額	14,909	13,202
利息の支払額	△1,037	△83
法人税等の支払額	△160,806	63,274
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>291,188</b>	<b>437,465</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△143,994	△77,988
有形固定資産の売却による収入	85,361	13,619
無形固定資産の取得による支出	—	△6,406
投資有価証券の取得による支出	△33,126	△40,186
投資有価証券の売却による収入	8,198	1,643
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
貸付けによる支出	△2,000	△2,470
貸付金の回収による収入	1,224	2,294
その他	△4,825	△10,388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△89,162</b>	<b>△119,882</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,530,000	31,000
短期借入金の返済による支出	△1,620,000	△31,000
自己株式の取得による支出	—	△563
リース債務の返済による支出	△5,260	△18,613
配当金の支払額	△71,941	△38,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,202	△57,530
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,824	260,052
現金及び現金同等物の期首残高	342,422	377,246
現金及び現金同等物の期末残高	377,246	637,298

(5) 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

(6) 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更】

(会計方針の変更)

<p>前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)</p>	<p>当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)</p>
<p>(棚卸資産の評価に関する会計基準) 当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、棚卸資産の評価基準を主として総平均法による原価法から主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。 この変更に伴う損益への影響は軽微であります。 (リース取引に関する会計基準) 当連結会計年度より、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正)及び「リース取引に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正)を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。なお、リース取引開始日が適用初年度前のリース物件の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。 この変更に伴う損益への影響はありません。</p>	<p>(退職給付引当金に関する会計方針の変更) 当連結会計年度より、「退職給付に係る会計基準」の一部改正(その3)」(企業会計基準第19号 平成20年7月31日)を適用しております。 この変更に伴う退職給付債務の変動はないため、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。</p>

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)及び当連結会計年度(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、化学工業薬品及び臨床検査試薬並びにこれらに付随する関連機器の販売等の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載は省略しております。

2 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)及び当連結会計年度(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

3 海外売上高

前連結会計年度(自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)及び当連結会計年度(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載は省略しております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
1株当たり純資産額 865円47銭	1株当たり純資産額 871円91銭
1株当たり当期純損失 5円54銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり当期純利益 15円24銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
1 普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)		
連結損益計算書上の当期純利益 又は当期純損失(△)(千円)	△26,570	73,041
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
差し引き普通株式に係る当期純利益 又は当期純損失(△)(千円)	△26,570	73,041
2 普通株式の期中平均株式数(株)	4,793,600	4,793,123

(重要な後発事象)

前連結会計年度(自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)及び当連結会計年度(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

連結財務諸表に関する注記事項のうち、セグメント情報、1株当たり情報、重要な後発事項以外については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略いたします。

## 5. 【個別財務諸表】

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成21年9月30日)	当事業年度 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	265,587	517,219
受取手形	393,049	489,369
売掛金	3,310,776	3,738,571
商品	456,019	563,312
繰延税金資産	50,347	22,714
短期貸付金	12,673	25,291
未収入金	19,072	19,354
未収還付法人税等	70,998	—
その他	11,115	11,390
貸倒引当金	△36,934	△42,356
流動資産合計	4,552,707	5,344,866
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,116,034	1,132,934
減価償却累計額	△657,949	△687,284
建物(純額)	458,084	445,650
構築物	198,663	198,780
減価償却累計額	△164,825	△170,449
構築物(純額)	33,837	28,331
車両運搬具	9,148	9,131
減価償却累計額	△8,972	△9,031
車両運搬具(純額)	175	100
工具、器具及び備品	229,565	260,290
減価償却累計額	△57,056	△57,386
工具、器具及び備品(純額)	172,509	202,904
土地	1,272,344	1,259,718
リース資産	25,800	78,951
減価償却累計額	△4,004	△18,497
リース資産(純額)	21,796	60,454
建設仮勘定	—	6,037
有形固定資産合計	1,958,747	2,003,196
無形固定資産		
ソフトウェア	871	3,737
電話加入権	6,706	6,391
無形固定資産合計	7,577	10,128
投資その他の資産		
投資有価証券	675,636	638,385
関係会社株式	125,000	147,000

(単位：千円)

	前事業年度 (平成21年9月30日)	当事業年度 (平成22年9月30日)
出資金	12,283	12,283
関係会社長期貸付金	12,077	9,145
破産更生債権等	15,559	4,185
差入保証金	352,786	358,421
その他	54,707	74,480
貸倒引当金	△15,505	△4,272
投資その他の資産合計	1,232,545	1,239,628
固定資産合計	3,198,870	3,252,954
資産合計	7,751,577	8,597,821
負債の部		
流動負債		
支払手形	409,248	418,036
買掛金	3,029,172	3,622,518
リース債務	9,723	24,330
未払金	5,138	12,995
未払費用	28,247	42,206
未払法人税等	5,153	110,154
前受金	6,295	8,052
賞与引当金	23,000	28,000
その他	8,079	31,936
流動負債合計	3,524,059	4,298,230
固定負債		
リース債務	39,994	80,940
繰延税金負債	33,539	29,622
退職給付引当金	5,836	10,221
役員退職慰労引当金	51,802	56,537
その他	6,800	6,800
固定負債合計	137,971	184,121
負債合計	3,662,031	4,482,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金		
資本準備金	881,100	881,100
資本剰余金合計	881,100	881,100
利益剰余金		
利益準備金	105,000	105,000
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	31,359	31,359
別途積立金	2,230,000	2,170,000

(単位：千円)

	前事業年度 (平成21年9月30日)	当事業年度 (平成22年9月30日)
繰越利益剰余金	△20,486	70,255
利益剰余金合計	2,345,873	2,376,615
自己株式	△3,443	△4,007
株主資本合計	4,043,930	4,074,108
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,616	41,360
評価・換算差額等合計	45,616	41,360
純資産合計	4,089,546	4,115,469
負債純資産合計	7,751,577	8,597,821

## (2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	17,347,417	18,770,064
売上原価		
商品期首たな卸高	469,193	456,019
当期商品仕入高	15,551,266	16,960,918
合計	16,020,460	17,416,938
商品期末たな卸高	456,019	563,312
売上原価合計	15,564,440	16,853,626
売上総利益	1,782,977	1,916,437
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	28,680	29,332
貸倒引当金繰入額	41,228	5,554
貸倒損失	133,341	—
役員報酬	65,850	68,528
給料手当及び賞与	824,867	858,373
賞与引当金繰入額	23,000	28,000
退職給付費用	46,915	48,131
役員退職慰労引当金繰入額	4,117	4,735
福利厚生費	130,307	132,904
旅費	32,171	35,154
車両費	85,694	86,736
通信費	22,258	21,911
減価償却費	47,570	56,325
その他	313,046	296,688
販売費及び一般管理費合計	1,799,049	1,672,376
営業利益又は営業損失(△)	△16,071	244,061
営業外収益		
受取利息	5,285	4,836
受取配当金	9,620	8,461
受取手数料	5,089	4,894
その他	7,085	9,447
営業外収益合計	27,081	27,640
営業外費用		
支払利息	852	—
支払手数料	501	415
その他	258	758
営業外費用合計	1,612	1,174
経常利益	9,397	270,527

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	67,655	—
投資有価証券売却益	1,885	243
役員退職慰労引当金戻入額	12,035	—
その他	6,789	—
特別利益合計	88,366	243
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	9,750	56
固定資産売却損	16,724	—
会員権評価損	550	800
投資有価証券評価損	9,946	39,339
投資事業組合運用損	19,803	15,086
減損損失	42,773	13,500
その他	800	199
特別損失合計	100,348	68,982
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△2,584	201,788
法人税、住民税及び事業税	10,739	106,407
過年度法人税等	2,980	—
法人税等調整額	15,047	26,290
法人税等合計	28,767	132,697
当期純利益又は当期純損失(△)	△31,351	69,091

## (3) 【株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	820,400	820,400
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	820,400	820,400
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
前期末残高	881,100	881,100
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	881,100	881,100
<b>資本剰余金合計</b>		
前期末残高	881,100	881,100
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	881,100	881,100
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
前期末残高	105,000	105,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	105,000	105,000
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>固定資産圧縮積立金</b>		
前期末残高	—	31,359
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の積立	31,359	—
当期変動額合計	31,359	31,359
当期末残高	31,359	31,359
<b>別途積立金</b>		
前期末残高	2,230,000	2,230,000
当期変動額		
別途積立金の積立	—	△60,000
当期変動額合計	—	△60,000
当期末残高	2,230,000	2,170,000
<b>繰越利益剰余金</b>		
前期末残高	114,129	△20,486
当期変動額		
別途積立金の積立	—	60,000

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
固定資産圧縮積立金の積立	△31,359	—
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△31,351	69,091
当期変動額合計	△134,615	90,742
当期末残高	△20,486	70,255
利益剰余金合計		
前期末残高	2,449,129	2,345,873
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の積立	—	—
別途積立金の積立	—	—
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△31,351	69,091
当期変動額合計	△103,255	30,742
当期末残高	2,345,873	2,376,615
自己株式		
前期末残高	△3,443	△3,443
当期変動額		
自己株式の取得	—	△563
当期変動額合計	—	△563
当期末残高	△3,443	△4,007
株主資本合計		
前期末残高	4,147,185	4,043,930
当期変動額		
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△31,351	69,091
自己株式の取得	—	△563
当期変動額合計	△103,255	30,178
当期末残高	4,043,930	4,074,108
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	57,942	45,616
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,326	△4,256
当期変動額合計	△12,326	△4,256
当期末残高	45,616	41,360
評価・換算差額等合計		
前期末残高	57,942	45,616
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,326	△4,256
当期変動額合計	△12,326	△4,256

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)	当事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)
当期末残高	45,616	41,360
純資産合計		
前期末残高	4,205,128	4,089,546
当期変動額		
剰余金の配当	△71,904	△38,348
当期純利益	△31,351	69,091
自己株式の取得	—	△563
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△12,326	△4,256
当期変動額合計	△115,581	25,922
当期末残高	4,089,546	4,115,469

(4) 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

6. その他

該当事項はありません。